

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月13日

上場会社名 株式会社ガイアックス 上場取引所 名
 コード番号 3775 URL http://www.gaiax.co.jp
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 上田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 太田 賀子 (TEL) 03—5759—0376
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,065	11.9	△8	—	10	△56.4	3	△82.4
25年12月期第1四半期	951	△3.7	17	△21.3	23	△24.4	19	△88.8

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 2百万円(△86.2%) 25年12月期第1四半期 19百万円(△88.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	0.73	0.72
25年12月期第1四半期	6.31	6.05

(注) 当社は平成25年7月1日付にて1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。また、平成25年7月11日の株主確定日における株主に対しライツ・オフアリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オフアリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オフアリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	2,667	1,521	56.8
25年12月期	2,627	1,518	57.5

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,513百万円 25年12月期 1,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	6.3	△50～50	—	△60～40	—	△70～30	—	△15.03～6.44
通期	4,100	4.0	30～130	—	20～120	—	0～100	—	0.00～21.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 除外 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	5,147,752株	25年12月期	5,147,752株
26年12月期1Q	492,152株	25年12月期	492,152株
26年12月期1Q	4,655,600株	25年12月期1Q	3,061,760株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は平成25年7月1日付にて1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、発行済株式数(普通株式)は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。また、平成25年7月11日の株主確定日における株主に対しライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オファリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オファリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、不安定な海外景気等一部に懸念があったものの、企業収益の向上や雇用情勢の良化を背景とした個人消費の増加に加え、消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり景気は回復基調で推移しました。

一方、当社グループを取り巻く事業環境は、ソーシャルメディアの利用者がスマートフォンやタブレット端末の普及もあいまって引き続き増加しており、世界的に展開する最大のSNSサービスを提供しているFacebookが、毎月のアクティブユーザー数が前年比16%アップの12億3,000万人に達している事を明らかにするなど、今後も市場が堅調に拡大していくことが見込まれます。また、このようなソーシャルメディアの普及を背景に、ソーシャルメディアをマーケティングやプロモーション、キャンペーン、従業員の採用活動等に活用する動きが加速しており、ソーシャルメディアの企業利用は大きく広がりつつあります。このような状況のもと、当社グループはソーシャルメディアの構築・運営・監視及びソーシャルアプリサポートのリーディングカンパニーとして、引き続き事業の拡大を図って参りました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、主力事業でありますソーシャルサービス事業においては、引き続きソーシャルアプリサポートサービスの売上が大きく伸長しております。Facebook関連サービスやブログサービスなども徐々に増加してきております。また、受託開発事業においては、携帯キャリア向けの案件が大幅に増加し、売上高、利益共に業績に貢献いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,065,277千円(前年同期比11.9%増)となりました。営業損益については、引き続き新サービスの開発投資、案件数増加に伴う人件費の増加及び増床に伴う消耗品費等の増加により8,294千円(前年同期は17,338千円の利益)の損失となりました。経常損益は、保険解約に伴う返戻金及び助成金収入により10,380千円(前年同期比56.4%減)の利益となり、四半期純利益は3,394千円(前年同期比82.4%減)の利益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ソーシャルサービス事業)

《法人向けソーシャルメディア活性化サービス》

Facebookに代表されるソーシャルネットワークやTwitterに代表される(マイクロ)ブログなど、企業によるソーシャルメディア活用のための企画提案・アプリケーション開発や、ガイアックスソーシャルメディアラボによるソーシャルメディアの啓蒙活動などを実施

《法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス》

同ソーシャルメディアを企業が運営する上で、24時間体制での運営サポートや投稿監視サービスなどを、日本語及び英語を中心とした多言語にて提供

《教育機関向けソーシャルリテラシーサービス》

学校裏サイトの監視やネットいじめ対策コンサルティングである「スクールガーディアン」や、若い世代の前向きなソーシャルメディア活用を推進するネットリテラシー講座などを提供

《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》

ソーシャルゲームに対するユーザー様からの問い合わせなどにつき、対応代行を24時間・多言語体制で行う「ソーシャルアプリサポート」を提供

《法人向けソーシャルネットワークサービス》

企業の社内コミュニケーションを有機的に活性化していくクラウド型社内SNS「エアリー」などを提供

《デジタルコンテンツサービス》

モバイル/スマホ向けコンテンツ配信「モバリスト」などを提供

当第1四半期連結累計期間におきましては、昨年度に引き続き《法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス》及び《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》の売上が順当に増加しております。投稿監視サービスにおいては、インターネット上のソーシャルリスクモニタリングツール「e-mining（イーマイニング）」を提供する株式会社ホットリンクと協業し、ネット上のリスク投稿を見つけ出す「リスクモニタリング24/365（ニーオンサンロクゴ）」の提供を開始するなど、さらなる収益の拡大を図ってまいりました。

この結果、売上高については、624,746千円(前年同期比2.8%増)となり、営業損益については、将来的な収益拡大に向けた新サービスの開発投資を引き続き行っている影響で、14,322千円(前年同期比77.4%減)の利益となりました。

(受託開発事業)

受託開発事業におきましては、子会社の株式会社電縁が主力事業としております。当第1四半期連結累計期間の業績は、既存顧客の継続案件については、受注獲得に依然苦戦しているもののコストコントロールを強化し、利益は増加傾向となっております。また、当第1四半期連結累計期間より携帯キャリア向け案件の受注が拡大し、売上高、利益共に前連結会計年度に比べ大幅に増加いたしました。この結果、売上高は448,496千円(前年同期比24.8%増)となり、営業損益については、18,172千円(前年同期は3,221千円の損失)の営業利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、2,267,162千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が52,875千円増加したこと及び現金及び預金が41,718千円、仕掛品が40,540千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて26.9%増加し400,185千円となりました。これは主に本社ビルの増床に伴い建物及び構築物が26,923千円、投資先への追加投資を行ったこと等により投資有価証券が57,601千円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し2,667,348千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.6%増加し826,954千円となりました。これは、短期借入金が増加したこと及び未払費用が22,105千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.2%減少し319,204千円となりました。これは、主に社債が20,500千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、1,146,158千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、1,521,190千円となりました。これは、利益剰余金が3,394千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

弊社の事業領域でありますインターネットビジネス市場は、ソーシャルメディアの利用者がスマートフォンやタブレット端末の普及もあいまって更に拡大していくことが予想されます。売上高については、堅調に推移すると見込んでおりますが、コスト面については、市場優位性の高いサービスへの新規投資を積極的に行いつつも、販売管理費等のコストの低減を図り、利益体質への改善を推進して参る予定です。

現時点においては、平成26年2月19日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、当社の子会社であるGaiaX Global Marketing & Ventures PTE.Ltd.が、株式会社ベンチャー広報の全株式を取得し子会社化しております。これに伴い当第1四半期連結会計期間より、連結子会社として連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を平成26年3月31日としているため、当第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

また、株式会社MGRは平成26年3月20日付で、株式会社シニアモードに社名を変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,770,929	1,729,211
受取手形及び売掛金	415,345	468,220
仕掛品	62,332	21,792
その他	69,078	54,465
貸倒引当金	△5,642	△6,526
流動資産合計	2,312,043	2,267,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,062	54,986
車両運搬具(純額)	1,460	1,095
工具、器具及び備品(純額)	31,229	32,092
リース資産(純額)	-	5,770
有形固定資産合計	60,752	93,943
無形固定資産		
ソフトウェア	4,140	3,765
のれん	9,537	25,242
その他	145	145
無形固定資産合計	13,823	29,153
投資その他の資産		
投資有価証券	28,562	86,163
長期預金	109,210	111,400
敷金及び保証金	90,134	72,871
長期貸付金	6,214	6,107
その他	24,773	19,219
貸倒引当金	△18,103	△18,673
投資その他の資産合計	240,791	277,088
固定資産合計	315,366	400,185
資産合計	2,627,410	2,667,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,463	106,556
短期借入金	65,000	133,500
1年内返済予定の長期借入金	160,956	169,356
1年内償還予定の社債	41,000	41,000
未払費用	159,297	137,191
預り金	31,003	12,985
未払法人税等	15,207	8,449
賞与引当金	-	33,813
その他	179,238	184,102
流動負債合計	761,165	826,954
固定負債		
社債	69,000	48,500
長期借入金	246,201	233,462
その他	32,400	37,242
固定負債合計	347,601	319,204
負債合計	1,108,766	1,146,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,685	729,685
資本剰余金	1,042,667	1,042,667
利益剰余金	△120,509	△117,114
自己株式	△142,925	△142,925
株主資本合計	1,508,917	1,512,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	908
為替換算調整勘定	1,056	582
その他の包括利益累計額合計	2,135	1,490
新株予約権	7,564	7,362
少数株主持分	25	24
純資産合計	1,518,643	1,521,190
負債純資産合計	2,627,410	2,667,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	951,606	1,065,277
売上原価	569,965	728,177
売上総利益	381,641	337,100
販売費及び一般管理費	364,302	345,394
営業利益又は営業損失(△)	17,338	△8,294
営業外収益		
受取利息	267	348
助成金収入	-	7,918
為替差益	3,181	-
持分法による投資利益	664	6,288
未払配当金除斥益	4,690	-
保険解約返戻金	-	6,634
その他	718	364
営業外収益合計	9,521	21,553
営業外費用		
支払利息	2,414	1,922
貸倒引当金繰入額	292	123
支払保証料	165	157
その他	201	675
営業外費用合計	3,073	2,878
経常利益	23,787	10,380
特別利益		
新株予約権戻入益	-	231
特別利益合計	-	231
税金等調整前四半期純利益	23,787	10,611
法人税、住民税及び事業税	4,450	7,217
法人税等合計	4,450	7,217
少数株主損益調整前四半期純利益	19,336	3,393
少数株主利益	6	0
四半期純利益	19,329	3,394

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,336	3,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	309	△171
為替換算調整勘定	270	△474
その他の包括利益合計	579	△646
四半期包括利益	19,916	2,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,908	2,749
少数株主に係る四半期包括利益	7	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。